

留学報告書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	フロリダ州立大学・ディズニーワールド提携インターンシップ
留学期間	2019年8月～2020年1月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	55万円
保険料	10万円
宿舍費（1か月あたり）	6万円
食費（1か月あたり）	1万5千円
渡航旅費	30万円

滞在形態関連

1) 種類
寮ルームシェア
2) 部屋の形態
相部屋（3人）
3) 設備
シャワー、お風呂（浴槽）、トイレ、エアコン、キッチン、ランドリー、インターネット、宅配ボックス。
4) 住居を探した方法
留学先大学の指定

現地情報	
1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？	
	はい。
2) 現地で病院にかかったことはありますか？	
	いいえ。
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？	
	はい。
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？	
	はい。・おたふく ・B型肺炎 ・髄膜炎
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？	
	留学先の友人、日本にいる友人や家族
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？	
	自分たちが実際に住んでいたオーランドはディズニーのセキュリティがしっかりしていたため、治安が悪いと感じたことや、事件に巻き込まれるといったことはありませんでした。しかし、オーランド以外の土地に旅行に行った際、特にニューヨークやロサンゼルスは変な人に声をかけられるなど、治安が悪いと感じる部分がありました。自分たちでネットを使い情報を得たり、両親から話を聞いたりして、物を盗まれないようにしっかりかばんをコートの下にしまうや、夜遅くに出歩かないなど自分たちで意識して行動するように心がけました。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？	
	寮の中にWi-Fiがあったため、ネットに不便さを感じることはありませんでした。私は日本でアメリカ国内どこでもネットが使い放題のプランにあらかじめ入っていたため、インターネット利用で困ることはありませんでした。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？	
	インターンシップで働いたお金で生活費や旅行費を補いました。ディズニーから支給されるカードに毎週お金が入ってくるためそれを使って生活していました。お金が少し足りなくなった時は日本から持ってきたクレジットカードを使用しました。

9) 利便性, 買い物はどうでしたか? また現地では調達できない日本から持っていくべき物 はありますか?
ディズニーが寮からスーパーまで連れて行ってくれるバスを使って買い物に行きました。 ディズニーのバスで行かない場所は Uber を利用しました。
10) 授業料 (またはプログラム費用) は, どのように支払いましたか?
クレジットカード
11) その他, 生活等に関して参考となることがあれば教えてください。
水道水がそのまま飲めないため, 浄水器を買って飲んでいました。

渡航について

1) 現地空港から滞在先まで, どのようにして向かいましたか?
留学先大学のピックアップサービス
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか? あった場合, どれくらいの期間行われて いましたか?
はい。アメリカについてからディズニーランドに向かうまでの 10 日間は, フロリダ州立大 学で過ごしました。その期間中にディズニーでの生活についてのオリエンテーションが何 回か開かれました。

学習・研究活動についてのレポート (履修した科目ごとに記入してください)

履修した授業科目名
Intercultural Communication
授業内容や試験, 授業を受けた感想について
授業内容は, 日本と海外の文化の違いや考え方の違いを習い, その違いをどう自分たちが受 け入れるか, なぜ考え方に違いで出るのかなどを自分たちで考え勉強する授業です。教授が とても分かりやすく丁寧に教えてくださり, すごく楽しくためになる授業でした。また教授 が積極的に私たちに質問を投げかけてくれたので多くの発言ができ充実した授業でした。 試験は前の日に教授が範囲を指定してくれるのでそこをしっかりと勉強してテストを受け るといった形です。

履修した授業科目名
Applied Intercultural Communication
授業内容や試験、授業を受けた感想について
月に一回、明治生以外のほかの同じ大学の生徒との一緒に授業を受け、その授業で習ったことをもとにエッセイを書いたりしました。授業はお互い発言しあったりして多くの会話が飛び交う空間での授業であり、また日本人以外の人の意見などを聞くことができました。

履修した授業科目名
Intercultural Communication Practicum
授業内容や試験、授業を受けた感想について
ディズニーで働いてみた経験をもとにエッセイを書いたり、自分の意見を述べるディスカッションをしたりしていました。

履修した授業科目名
Corporate Social Responsibility
授業内容や試験、授業を受けた感想について
働いてみたことで発見したことや、授業で習った文化の違いなどをも元にエッセイを書いたりしました。最後のエッセイは自分がインターンをして気づいたことや働いてみて感じたことなどをまとめました。

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>元々自分は高校生の時から、もし自分が明治大学国際日本学部に入ることができたらこのディズニーインターンシップに参加したいと考えていました。理由は、フロリダのディズニーランドでキャストと働くことなんてこの先簡単にできる経験ではないし、参加したら絶対に日本では経験できないかけがえのないものを体験できると思ったからです。また、この学部に入りプログラムに参加した先輩の話などを実際に聞き、とても充実していて楽しかったということを知り、ますます行きたいと考えるようになりました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学の準備は出国する半年前くらいから始めました。まずアメリカで生活するというのも考えて、ラーニングラウンジに行って外国人と話す機会を増やしたり、英語の必修の授業中も教授が言っていることをきちんと理解するように心がけました。また留学に必要なものを積極的に先輩方に聞いたりして足りないものが直前になって見つからないようにそろえるようにしました。また私はアレルギーもちであったため、多くの病院に行ってアメリカで使える診断書を書いてもらったり、薬を処方してもらうなどして準備を早めから進めていました。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>留学前に一番役に立ったウェブサイトは、実際にプログラムに参加した先輩が書いた留学報告書です。載っているすべての報告書に目を通して、あちらでの生活を想像したり、自分が今やらなければいけないことを考え、行動するようにしていました。実際に同じ体験をする先輩方の報告書であったため、とても読んでためになりました。これら以外にも明治の教授に話を聞いたり、留学を体験したことのある先輩方に話を聞いたりして留学に行くまでの間過ごしていました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)</p>	<p>最初の職場も次の職場もどちらも同僚、リーダーみんないい人達でした。私が働いていてわからないことなども丁寧に教えてくれ、また英語が母語ではないことも理解してくれていたため、会話において困ったときなどもサポートしてくれました。そのため楽しく働くことができました。職場の雰囲気もとても良かったです。同僚同士が仲が悪いということも全くありませんでした。仕事が休みの日にゲストとして遊びに行った時も、働いている同僚が元気に話しかけてくれるとても温かい職場であったと思います。</p>

滞在先の雰囲気	自分たちが暮らしていたオーランドは治安が悪いといったこともなく、住みやすいところであったと思います。特に私たちはディズニーの寮で暮らしていたため、ディズニーのバス利用することができ、それらを使いデパートやスーパーにも行けたので住んでいて不便さを感じることはありませんでした。また自分たちの寮の周りにアウトレットもあったため比較的住みやすかったと思います。オーランドはテーマパークがたくさんあるため世界の多くの観光客を見る場面が多々ありました。
留学先における交友関係	このプログラムに参加している明治生とはとても仲良くなったと思います。留学前は全く接点のなかった友人もこのプログラムを通じてとても仲良くなり、あちらの生活ではでは多くの新しい友達とパークで遊んだり、ご飯を食べたりしました。また私はルームメイトがすべて日本人であったため、ルームメイトともたくさん遊び、交流をしました。職場でも多くの外国の友達ができました。できた友人たちが車で寮まで送ってくれるなどしたこともありました。
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	留学中に一番つらかったと感じたことは、仕事です。どちらの職場も同僚、リーダーはとてもやさしく仕事場の雰囲気はとても良かったのですが、混んでるという理由や人が少ないなどの理由で、休憩がもらえなかったり、混んでるときは毎日残業をするなど精神的にも体力的にもつらいときは多くありました。特にクリスマスの時とシフトは 8 時間休憩なしなどの日もありつらかったです。また、クレームを言ってくるゲストの対応にもとても苦しみました。自分が上手に英語を使えず言いたいことが言えずつらいと感じる時も多くありました。
留学先における学習、課題や試験	毎週エッセイやディスカッションの課題がでるため、その課題が出たら今回はどのようなものなのかをあらかじめ確認して、職場に行くバスの中でエッセイの構想を練ったり、少しの休憩時間に課題を進めるなどしてしていました。大変だったことは、仕事をしながら課題をしていたため、仕事のシフトが連勤などで入っていた場合、オフの日がなく、課題に費やす時間が仕事から帰ってきた後の時間などしかないときは体力的につらかったです。基本的にバスの中などの隙間時間で課題を進めるか、オフの日に進めるかをしていました。

<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>最初の職場は基本的に週休 2 日で、2 つ目の職場は週休 1 日でした。休みの日は、オフの日が被った友達とディズニーのパークで遊んだり、近くにあるユニバーサルスタジオに行ったりして充実して過ごせました。パークで遊ぶだけではなく、寮の友達とパーティーをしたり、近くにアウトレットにショッピングをしに出掛けたりしました。一日寮にいて課題もする日もありました。また休み申請をして旅行をすることもありました。私は合計 3 回旅行をしました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>もし今留学するか悩んでいる人がいたら私は絶対にすべきだと思います。日本以外の国に出ることで今まで気づけなかったことを多く発見でき、また日本では経験できないかけがえのない体験ができるからです。自分は初め、留学に行きたくても最初の TOEFL のスコアが基準の点数までいかず、つらいと感じた時期もありました。ですがその悔しさをばねにして次の試験まで猛勉強をし、留学に行くことができました。その期間はつらかったですが今思えばあの時頑張らなければ自分は留学に行くことができなかつたんだと思うと、頑張らよかったなと今では思っています。留学は楽しいことだけじゃなくつらいこともたくさんありますが、それも含めて絶対に留学してよかったと心から思えるのですべきだと私は思います。</p>